

# 会議結果のお知らせ

## 1 開催した会議の名称

「岩手の幸福に関する指標」研究会（第7回）

## 2 開催した日時

平成29年7月21日（金）10:00～12:00

## 3 開催場所

岩手県立大学アイーナキャンパス 7階 学習室1

## 4 出席委員

委員5名中5名、アドバイザー1名中0名

## 5 研究会協議事項等

### 協議事項

#### （1）第6回研究会で示された主な御意見について

○政策推進室から、資料1及び参考1、参考2、に基づき、第6回研究会で示された主な御意見への対応、客観的指標の具体例（案）について説明。

#### ■委員からの主な意見等は次のとおり

（意見）

客観的指標の具体例（案）において、「全国平均」の欄に、平均ではなく全国合計値が記載されている箇所があり、読み手にとって紛らわしいと思われるので、修正してほしい。

（回答）

御意見を踏まえて修正する。

（意見）

客観的指標を示すことの目的の一つとして全国比較があるのであれば、可能な限り指標の表示方法は「人口当たり」とするのが良いのではないかと。

（回答）

御意見を踏まえて修正する。

（意見）

全国平均値を示すだけで本県の立ち位置を把握しづらいので、全国順位もしくは全国の最小値・最大値を記載したほうが良いのではないかと。

（回答）

御意見を踏まえて最小値・最大値を記載することとする。

## (2) 「いわての幸福に関する指標」研究会報告書の骨子(案)について

○政策推進室から、資料1及び参考3に基づき、「いわての幸福に関する指標」研究会報告書の骨子(案)について説明

### ■委員からの主な意見等は次のとおり

(意見)

県民意識調査における自由記載欄の記載内容にも、非常に重要な視点が盛り込まれていると感じる。そのため、この記載内容も報告書に盛り込むべきだと考える。

(回答)

県民意識調査の結果については、報告書の参考資料として添付する予定であり、併せて自由記載欄の記載事項も掲載することとする。

(意見)

報告書の「第4章 県民参画の手法」については、重要な取り組みであり、ワークショップの概要や手法の特徴についてもページを設けて記載しても良いのではないかと。

(回答)

報告書の本文に加筆するとともに、ワークショップの概要を参考資料に添付することとする。

(意見)

協調的幸福感とソーシャル・キャピタルについて、それぞれの概念と、なぜ導入したのかという理由等について、説明を追加すべきではないかと。

(回答)

報告書の本文に記載することとする。

(意見)

ソーシャル・キャピタルの実態と実感にプラスの相関がみられたのは素晴らしい成果と言って良いものであり、このことについて報告書の中でもう少し詳しく言及しても良いのではないかと。

(回答)

報告書の本文に記載することとする。

### 会議資料

資料 第7回「岩手の幸福に関する指標」研究会検討資料

参考1 第6回研究会で示された主な御意見について

参考2 客観的指標の具体例(案)

参考3 「岩手の幸福に関する指標」研究会報告書の骨子(案)について

※会議資料及び会議録については、県のホームページに掲載します。

## 6 傍聴人数

一般 0名  
報道 4社

## 7 問い合わせ先

盛岡市内丸10番1号  
岩手県政策地域部政策推進室評価担当 TEL019-629-5181 FAX019-629-5254

## 8 ホームページアドレス

<http://www.pref.iwate.jp/seisaku/hyouka/44982/058017.html>

## 9 その他

本研究会について御意見がありましたら、上記問い合わせ先まで FAX 等でお寄せください。  
今後の研究会での審議の参考とさせていただきます。